

## 太陽光発電設備の安全性維持を目的とした

### 中小太陽光発電所の保守点検項目に関する調査報告書

#### 公表にあたって

太陽光発電技術研究組合（以下、PVTEC）では2016年12月15日に「太陽光発電システム保守・点検のための屋外環境下におけるI-V特性測定方法ガイドライン」を発行しました。以降、2017年8月から2018年10月にかけて6回の「精密点検方法調査検討会・中小太陽光発電所保守点検メニュー検討会」を開催し、2018年3月15日には、「太陽光発電システム保守・点検のための保守点検機器一覧」を公表しました。

引き続き検討会にて検討を進め、今般50kW未満の太陽光発電所における設備安全性を確保するために最低限必要となる点検項目について整理し、「中小太陽光発電所の保守点検項目に関する調査報告書」として公表しましたのでお知らせ致します。

この調査報告書では、太陽光発電設備の安全性を、以下の4項目に定義し、この安全性を確保することを目的としています。

- (1) 絶縁性の確保
- (2) 絶縁不良が発生した際の電気が逃げる経路（接地）の確保
- (3) パネルや架台の飛散防止（基礎・構造設計は正しいとして点検項目からは除外）
- (4) 火災リスクの軽減

本調査報告書は、上記設備安全性を確保する為に最低限オーナーが実施すべき点検項目としてまとめましたので、多くの方にご確認いただきご活用いただければ幸いです。

2018年12月25日

太陽光発電技術研究組合